

2016年6月29日：タイ、ノンタブリ県での車椅子引き渡し式

6月29日、タイ、ノンタブリ県で90台の車椅子の引き渡し式が執り行われました。

会場には、当会の受け入れ団体、タイ身体障害者協会(APHT)の Suppacheep Didthad 会長と職員（職員の多くは車椅子の利用者です）と車椅子を受け取るタイ国内の5か所の特別支援学校の代表者、そして子供たちの代表と父兄等約150名が出席しました。

会場の中央にはスクリーンに「第4回障害児のための車いす寄贈式典～日本から愛と気持ちを込めて～」と日本語がタイ語と共に表示されていました。

当会からは同プロジェクトのコーディネーターとして活動しているタイ在住の木村武史会員が出席しました。

式は、Didthad 会長のスピーチから始まり、会長は今回で4度目、合計330台の車椅子寄贈に対して当会と日本の子供たちと家族、そして関わりを持ってくれたすべての人達に感謝の意を述べ、車椅子はタイの障害を持つ子ども達と家族に希望を与えてくれていることが強調されました。

続いて、当会の森田祐和会長の英文メッセージを木村会員が代読し、タイ語の通訳を通じて出席者全員にその内容が伝えられました。

木村会員からは、来年初めに90台を寄贈する計画であることが付け加えられ出席者から拍手が起きました。

スピーチの後、特別支援学校の代表者と子ども達が Didthad 会長から紹介され、自分たちが受け取る車椅子を嬉しそうに確認していました。何人かの子ども達は早速大人たちの助けを借りて車椅子や歩行訓練器を試していました。



Suppacheep Didthad APHT 会長のスピーチ



木村武史会員による森田会長のメッセージの代読



多くの出席者と式場に並べられた車椅子

配布される特別支援学校の代表者と子ども達と父兄。
車椅子は各学校の名札のもとに学校ごとにまとめられていました。





緊張しながら初めての歩行訓練器使用。すぐに慣れて会場をひとりで移動していました。



前列の3名の成人車椅子利用者はAHPT職員